

平成29年度 学校自己評価（職員による年度末評価）

25 長野県屋代高等学校
・附属中学校
平成30年2月 実施

職員による評価 A:十分 B:概ね十分 C:やや不十分 D:不十分 回答総数 73

評価項目	評価の観点	今年度の取り組みの成果	次年度への課題	職員評価				指標
				A	B	C	D	
1	新しい学校づくりの完成に向け、普通科教育・理数科教育・中高一貫教育および IV期SSH のプログラムについて更に研究を深め実践することができたか。	2 学年普通科における課題探究の全職員による取り組みの実践がなされ、探究報告集も完成し良い取り組みとなった。HP更新改善。(委員会)	生徒の力量育成の手立てとしての深化。職員の負担の軽減化。(委員会)	39	28	4	1	85.3
		オーストラリアのキャンベラカリッジとのビデオチャットによる交流を図り、今後に向けての検討ができた。(委員会)	同経度における国際間の授業交流の検討。(委員会)					
		中高一貫6年の見通しを持ちながら、中学3年間で必要な力や技能を検討しながら、改善を進めてきた。(中学)	教科や総合的な学習・科学リテラシーの学習内容について、さらに改善していく。(中学)					
2	キャリア教育体制を検討し発展させることができたか。	従来の指導体制に基づき、補習・特編授業・夏期学習合宿・模試準備や復習の徹底等に取り組み、生徒の意識付けにも腐心した。(高3)		43	27	2		89.2
		基本的に例年のキャリア教育体制に従って補習(朝・放課後・土曜)、夏期補習、学習合宿、模試、講演会等を行い、粛々と生徒への指導を進めた。(高3)	班活動との両立・授業への集中度・自習室利用等を通じ、集団として受験に取り組んでいく指導。(高3)					
		3 年次完全コース制の実施、後期土曜補習の実施など、生徒の進路や学力を踏まえて、既存体制の改善を行った。(高2)	新課程入試に対応できるように授業進度を考えながら、生徒の現状に即した指導法について研究を深めたい。(高2)					
		ジョブシャドウイング、キャリア講演会などは予定通り行い、文理選択や進路希望を考えるきっかけ作りとなった。大学・企業見学会は台風のため中止された。(高1)	中止された大学見学会を、2年次にふさわしい形で実施する。(高1)					
		学年行事「能登臨海実習」「職場体験学習」「イングリッシュキャンプ」「大学見学、集中学習」「修学旅行」を実施することを通して、社会や人とのかかわりを見直すことができた。(中学)						
	進路情報を生徒・保護者に向け有効に発信できたか。	学年通信、進路関連資料を配布し、学年PTA・保護者説明会・キャリア講演会等の際にもタイムリーな情報を発信した。(全学年)	進路情報が保護者まで届かないことを保護者から相談を受けることがある。必要な情報はきちんと保護者にも伝えるように生徒への指導を強化したい。(高2)	47	20	4	1	89.2
		節目節目で学年集会を開いてキャリア担当より話をし、意識向上に努めた。また学年通信、進路室たより等で必要な情報を提供した。(高3)	新テストに関することなど、引き続き研究と発信が重要である。(高1)					
		毎週1回学年通信を発行し、各種進路資料を用いて進路情報を伝えることができた。また、総合学習においても進路について学ぶ機会を設けた。(高2)	保護者・生徒間、学校を加えた三者での情報の共有・理解が必要(高2)					
		学年通信やHRでの配布物を中心に学校行事、進路選択また学習に関わる情報の提供ができた。(高1)	より内容の充実をはかりたい。(高1)					
		学年通信を通して、キャリアに関する情報を発信した。参観日には保護者に学力推移調査や学習実態調査の結果をもとに説明することで、学習状況についての情報を共有した。(中学)						
	全教科にわたる総合的学力を養成し、国公立大学を中心に進路実現の可能性を上げることができたか。	模擬試験を利用し、過去問の取り組みや事後の復習で学力の伸長の意識付けができた。(高3)		37	31	4		86.5
		科目を減らさず、5-7型で最後まで諦めずに学習に取り組む指導を行った。(高3)	一部ではあるが、科目を絞った方が良いと思われる生徒への対応も必要かと思われる。(高3)					
各教科の指導の取り組み情報や調査毎の個人績情報を学年で共有し指導に活用した。(高2)		個々の生徒にバランス良く各教科の学力をつけるため、教科間の連携や課題の調整が必要である。(高2)						

評価項目	評価の観点	今年度の取り組みの成果	次年度への課題	職員評価				指標		
				A	B	C	D			
2	キャリア教育	テスト前の補習体制の充実をはかった。「学習合宿」といった学年行事や「ハイレベル模試」を企画して、大学選択の際の視野を広げるように努めた。(高1)	台風の影響で中止とした「大学見学会」については、学部選択に目的を置く形で次年度5月に実施予定。拡がる学力差に応じた取り組みを行いたい。(高1)					86.1		
		学年集会、保護者説明会、キャリア講演会などを通じて、大学や入試について、知識を深め、幅広く学習することの意義を強調した。(高1)	2年次以降の学習指導においても、全教科にわたる総合学力の養成を目指す。(高1)							
		学力推移調査を全学年で行うことで、3年間の学力推移のデータをもとに学習方法について指導した。希望者模試(中3では5教科型、中1, 2では総合学力調査)を行い、各学年60名程度受援した。考査前には放課後質問講座を開催し苦手教科の克服に努めた。(中学)								
	生徒の学力や生活実態などの情報を把握し、それを集団と個々に応じた指導に活かすことができたか。	毎回の模擬試験の結果を分析し、生徒への周知を図るとともに、SHRで前日の学習記録をつけることで、集団と個々への指導に活用した。(高3)			36	32	4			
		3年間SHRで学習記録をつけて学習・生活習慣の把握をし、面接等でアドバイスすることが出来た。また模試分析を通して各科目の学力実態を把握し、授業・補習・個人添削等で対処してきた。(高3)	生徒のメンタルな部分に配慮しつつ学力の伸長をはかっていきたい。(高3)							
		「スタディーサポート」や各考査の結果、及び年間を通じての個人面談により集団と個々への指導を繰り返した。考査前の補習も利用する生徒が増えた(高2)	学力差が年々拡がり、各成績層に合わせた「学習内容」の充実、「学習意欲」の持続へ課題が残る(高2)							
		学習成績や面談等を通じて生徒の実態を把握し、学年全体としても改善すべき点を確認、検討した。(高1)	生徒の学習実態を継続的に把握し、学年や各教科で情報を共有したい。(高1)							
各考査の成績や、校内・校外の学習実態調査の結果を、個別面談や保護者懇談会などに活かすことができた。(高1)	指導・支援を継続していく。(高1)									
学力推移調査の結果に基づいて、二者・三者での懇談を行い、情報を共有してきた。(中学)										
3	魅力ある、質の高い授業を提供できるよう教科指導の研鑽に努めることができたか。	授業充実のためのアンケートを実施し、さらなる授業改善に役立てることができた。(委員会)	授業改善に向けて研究授業を充実させ、教員間での情報を共有する。(委員会)	36	32	5		85.6		
		教員相互の授業公開を行い、授業内容の充実のために内容のフィードバックを行った。(委員会)	教員間でフィードバックした内容を、教科などでも共有し、授業充実に役立てていく。(委員会)							
		学年会等で教員間の情報交換を密におこなった。(高3)								
	中高の教員の授業の持ち合いを図り、生徒が見通しをもって学習に取り組めるよう情報交換や授業改善に努めてきた。(中学)	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、研究・研鑽を続けていく。(中学)								
生徒の学習実態調査(家庭学習時間など)の結果を分析・研究することができたか。また、分析・研究の結果を指導に活かすことができたか。	スタディーサポートおよび委員会による学習実態調査の結果を学年と共有し、生徒の実態を把握・分析し、面談などで活用した。(委員会)	自立・自律した学習を育てるための仕組みを考え、データや情報を教員間で共有する。(委員会)	39	30	4		87.0			
4	通学中の交通事故をなくす努力ができたか。	全職員や係による街頭指導を年間10日間行った。日頃の注意喚起も適宜行い、自転車事故を4件に減らすことができた。(係)	事故は減少したが、事故ゼロを目指して、引き続き街頭指導や呼びかけを行いたい。加えて、ヘルメットの着用を促進したい。(係)	44	28	1		89.7		
		SHR等での注意喚起を日常的に行った。(高3)								
	いじめや暴力のない安全な学校生活を送るための啓発活動ができたか。	HRや集会等で安心・安全な集団づくりに向けて啓発を行った。いじめアンケートの気になる記述に関しては丁寧な聞き取りや面談を行い、問題の解決を図ることができた。(係)	SNSへの利用についてはモラルの啓発を含め、メディアリテラシー教育を充実してゆきたい。(係)							
いじめアンケートを行うとともに、啓発しいじめや暴力を否定する意識の向上を図った。(高3)										
学年全体でロッカーの施錠を徹底し、盗難の防止に努めた。(高1)	スマートフォンやSNSの利用については、今後も指導が必要である。(高1)									

評価項目	評価の観点	今年度の取り組みの成果	次年度への課題	職員評価				指標
				A	B	C	D	
4	人権教育 すべての教育活動が人権教育を基盤として行われ、いじめや体罰のない安心安全な学校づくりにつながったか。	講演会は加藤史子さんを招き「夢を実現する心のあり方」を話していただいた。LHRは「小・中学生の学習内容から考える部落差別について」を使用し、部落問題について改めて整理し、自分自身がすべきこと・できることを考えた。有意義な活動になった。(委員会)	次年度も良い講師を探し、本校生徒にとって意義のあるテーマを考えたい。(委員会)	45	27	1		90.1
		SHRやLHR等を通じて啓発を行った。(高3)						
		道徳や総合的な学習、また日々のSHR・授業の中で、自分と立場の違う人への思いを育てようとしてきた。(中学)	引き続き、他者の心の痛みのわかる人を育てるための学びを展開・発展させていく。(中学)					
5	情報発信 本校の教育活動の成果を、保護者、小中学生、地域に伝え、特色ある学校として理解してもらうことができたか。	行事を中心とした学校生活の様子をポータルサイトで写真を含めて紹介し、保護者や地域・県内の小学生に情報を提供してきた。(係)	後期には更新の頻度を多くしてきた。引き続き、日々の様子を定期的に公開していく。(係)	43	25	5		88.0
		担当職員や各班の顧問の協力が広がりを見せ、現場での写真提供やレポート報告の件数が増え、より臨場感のある情報発信ができた。(係)	情報発信の体制はより充実したものへと発展し続けているが、外部からの評価とは繋がっていない。どう見える化をするかが大きな課題である。(係)					
		学年通信を通じて発信できた。(高3)						
		行事を中心とした学校生活の様子をポータルサイトで写真を含めて紹介し、保護者や地域・県内の小学生に情報を提供してきた。(中学)	後期には更新の頻度を多くしてきた。引き続き、日々の様子を定期的に公開していく。(中学)					
全体	生徒会 質実剛健の気風を大切に して、執行部と各会員が 一体となった自主活動の ための指導支援ができた か。	新役員体制となつてからは、定期的に執行部会と評議委員会を開催し、校内の諸課題について議論を進めた。さらに生徒会通信を発行し、全校生徒と一体となった活動に努めた。(係)	中高で目標や課題を共有して、より一体となった活動を行っていききたい。(係)	42	28	2		88.9
		今期より、中学校の正副生徒会長も執行部会に招き、中学校との連携を押し進めた。(係)	諸行事の内容の見直しを進め、より意義深いものにしていききたい。(係)					
		生徒会の中心学年として、執行部を中心に学校全体が団結できた。(高3)						
		役員選挙に関わる新企画に始まり、新執行部の始動に際して課題の洗い出しを徹底させるなど、生徒会活動を活発化させる多くの取組みを支援した、その成果が現れつつある。(高2)	執行部生徒の努力を活かし、継続して全校生徒一体となれる生徒会活動を支援する。(高2)					
	校内美化 生徒一人ひとりが、生き 生きとした活動をするこ とができるか。	最大行事である鳩祭、クラスマッチなど各行事では活況を呈した。運動班・文化班とも活発な活動がみられ、全国大会出場を果たすなどした。(係)		38	27	7		85.8
		鳩祭やクラスマッチ等で生徒が主体的に活動できた。(高3)						
文化祭やクラスマッチなど、前面に出て活躍するのみならず、裏方として尽力する生徒も、それぞれに達成感を得て成長できる場になった。(高2)		附属中学校生徒会と高校生徒会、中学生と高校生の連携・協働のあり方をさらに検討したい。(高2)						
校内美化 清掃用具の充実を図ると 共に、生徒が自主的に校 内美化を進められるよう に、指導・支援を行うこ とができるか。	清掃用具の破損、不足分について迅速な対応を心掛けた。(係)	ゴミの分別と落葉清掃を徹底したい。(係)	38	27	7		85.8	
	清掃班を清掃委員中心に決め、一人一人が積極的に校内美化にあたった。(高3)							
	生徒相互に清掃内容やその改善点を考えたり、より美しい校舎を保つための工夫をしたりしながら清掃するよう支援してきている。(中学)	時間いっぱい、考えながら清掃する姿を目指し、工夫・支援をしていく。(中学)						

指標は、A(4点), B(3点), C(2点), D(1点)として最高100点となるように換算しました。〔換算式〕 $25 \times (4点 \times Aの数 + 3点 \times Bの数 + 2点 \times Cの数 + 1点 \times Dの数) \div 総数$